

「平成28年度 新・相模原市総合計画及び相模原市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進行管理 1次評価」結果一覧

施策 名称 成果指標 サブ指標	総合戦略 基本目標	平成27年度実績					[参考]平成26年度実績			改善工程表 (有:)	所管
	重点プロジェクト	成果指標 結果	業績評価 指標結果	総合評価 (1次評価)	1次評価の説明(要旨)	総合評価 (2次評価)	成果指標 結果	総合評価 (1次評価)	総合評価 (2次評価)		
誰もが安全でいきいきと暮らせる安心・福祉都市											
01 地域福祉の推進											
【指標1】 地域で、住民が互いに支えあっていると感じる市民の割合		C		B	施策を構成する主な事業においては、それぞれ一定の成果が上がっているが、指標の達成率は十分とは言えないことから、1次評価を「B」とする。		C	B	B		健康福祉局
【業績評価指標1-1】 ボランティア登録制度(いるかバンク)の登録者数			B				B				
【業績評価指標1-2】 ノステップバスの導入率			A				A				
02 援護を必要とする人の生活安定と自立支援											
【指標2】 生活保護を受けている人のうち、自立支援プログラムに参加した人の割合		A		A	本施策の成果指標については、目標設定時に算出していた生活保護受給者見込数に比べ、リーマンショック後には大幅に増加しているにも関わらず、個々のニーズに対応した支援メニューの効果的な提供により、受給者に占める参加者の割合は増加し、目標値を大きく上回った。 また、この結果、保護費削減や日常・社会生活の質の向上にもつながっていることから、1次評価を「A」とした。		A	A	B	健康福祉局	
【業績評価指標2-1】 生活困窮者自立相談支援事業を通じた就労支援により、就職に結びつけた人の割合			A				B				
【業績評価指標2-2】 学習支援を行った中学3年生の高校進学率			A				A				
03 子どもを生みやすい環境の整備											
【指標3】 合計特殊出生率	少子化	A		A	業績評価指標のうち1つが達成できなかったもののその他の指標は目標値を達成できた。施策を構成する主な事業について、妊婦健康診査については妊娠届出書の医療機関への常置等の取組により交付率は昨年度を上回っており、こんにちは赤ちゃん事業についても4か月児健診や夜間訪問等も含めるとすべての乳児の状況を把握できている。 また、保育所の待機児童対策においては認可保育所の新設等による定員増に加え、すくすく保育アテンダントによる相談支援の充実などにより待機児童を解消した。これらの実績を助案し、1次評価を「A」とした。		A	A		健康福祉局	
【指標4】 子どもを生みやすい環境であると感じている市民の割合	少子化	A					A				
【業績評価指標3-1】 乳幼児の健康状況把握率	少子化		A				A				
【業績評価指標3-2】 母子健康手帳交付時に保健師が保健指導を行った割合	少子化		A				A				
新 【業績評価指標3-3】 合計特殊出生率	少子化		B								
04 子育て環境の充実											
【指標5】 子どもを育てやすい環境であると感じている市民の割合	少子化	B		A	成果指標において、「子どもを育てやすい環境であると感じている市民の割合」は、目標値に達してはいないものの、昨年度より6.1ポイント上昇している。 また、「子どもを必要ときに預けられる人や場所がある親の割合」は、目標値を5.2ポイント上回っていることからなどから、一次評価を「A」とした。		B	A		健康福祉局	
【指標6】 子どもを必要ときに預けられる場(人・場所)がある親の割合	少子化	A					A				
【業績評価指標4-1】 保育を必要とする児童が保育を受けることができる割合(保育所)	少子化		A				A				
【業績評価指標4-2】 子育てサポーターの登録者数	少子化		B				A				
【業績評価指標4-3】 子どもの安全確認を行った割合			A				A				

「平成28年度 新・相模原市総合計画及び相模原市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進行管理 1次評価」結果一覧

施策 名称 成果指標 サブ指標	総合戦略 基本目標	平成27年度実績					【参考】平成26年度実績			改善工程表 (有:)	所管
	重点プロジェクト	成果指標 結果	業績評価 指標結果	総合評価 (1次評価)	1次評価の説明(要旨)	総合評価 (2次評価)	成果指標 結果	総合評価 (1次評価)	総合評価 (2次評価)		
05 青少年の健全育成											
【指標7】 不良行為少年補導人数	少子化	A		A	成果指標については、大幅に目標を上回っており、また、業績評価指標については、3つの指標のうち2つが達成しており、残り1つについても目標値の99.7%と高い達成率であり、概ね目標を達成していることから、1次評価を「A」とした。		A	B	B		健康福祉局
【業績評価指標5-1】 地域・子どもふれあい事業の参加者の青少年人口に対する割合	少子化		A			A					
【業績評価指標5-2】 青少年健全育成組織の構成員数	少子化		B			B					
【業績評価指標5-3】 若年無業者・フリーターの相談者数に対する 就学・就職者数の割合			A			B					
06 高齢者の社会参加の推進											
【指標8】 活動の場がある高齢者の割合		-		B	設定した業績評価指標3項目のうち2つの指標が目標を達成していないことや、主な事業の取り組み結果を勘案し、1次評価を「B」とした。		-	B		健康福祉局	
【業績評価指標6-1】 シルバー人材センターの就業延人員			B			B					
【業績評価指標6-2】 社会参加を行う高齢者の割合			B			B					
【業績評価指標6-3】 高齢者大学 受講生の満足度			A			A					
07 高齢者を支える地域ケア体制の推進											
【指標9】 健康と感じている高齢者の割合		-		A	設定した成果指標については、概ね目標値を上回った。 また、施策を構成する事業においても、目標どおりの実績が得られ、施策の目標達成に向け十分な効果が現れていることから、1次評価を「A」とした。		-	A		健康福祉局	
【指標10】 高齢者が地域で見守られ、支えられて暮らしていると感じている人の割合		B				A					
【指標11】 介護サービス利用者の満足度		-				-					
【業績評価指標7-1】 介護予防事業の参加者数			A			A					
【業績評価指標7-2】 介護支援ボランティア数			B			B					
【業績評価指標7-3】 認知症サポーターの養成数			A			A					
【業績評価指標7-4】 小規模多機能型居宅介護の整備数			A	B							

「平成28年度 新・相模原市総合計画及び相模原市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進行管理 1次評価」結果一覧

施策 名称 成果指標 サブ指標	総合戦略 基本目標	平成27年度実績					【参考】平成26年度実績			改善工程表 (有:)	所管
	重点プロジェクト	成果指標 結果	業績評価 指標結果	総合評価 (1次評価)	1次評価の説明(要旨)	総合評価 (2次評価)	成果指標 結果	総合評価 (1次評価)	総合評価 (2次評価)		
08 障害者の自立支援と社会参加											
【指標12】 一般就労をした障害者の数	少子化	B		B	平成30年4月の改正障害者総合支援法の施行に向けて、国の制度改正の動向を的確に把握し、障害者施策を推進していくことが求められている中、障害者が住み慣れた地域で暮らせるよう、総合計画や法定計画である障害者福祉計画及び障害福祉計画に基づき、市社会福祉事業団、障害福祉サービス事業所や公共職業安定所等関係機関と連携しつつ、生活支援・就労支援・相談支援等の充実を図った。しかし、8つの指標・業績評価指標の評価結果から1次評価を「B」とした。		C	B			
【指標13】 日中活動系事業所の利用者数	少子化	A				A					
【指標14】 相談支援を受けている件数	少子化	B				A					
【指標15】 障害福祉サービスなどに満足している市民の割合		-				-					
【業績評価指標8-1】 障害者総合支援法に基づき市が指定する特定相談支援事業所数	少子化		A			A					
【業績評価指標8-2】 就労移行率が3割以上の事業所数	少子化		D			D					
【業績評価指標8-3】 共同生活援助の利用者数			A			B					
【業績評価指標8-4】 市内6箇所の障害者支援施設に満足している利用者の割合			A			B					
09 障害児の支援											
【指標16】 療育相談やリハビリテーションを行っている障害児の数(利用者数)	少子化	A		A	医療的ケアを必要とする障害児への在宅支援の充実の推進、また、療育センター再整備方針に基づく、福祉型児童発達支援センターの整備促進など、着実に施策を推進していることや、成果指標についても全て目標を上回ったことから、1次評価を「A」とした。		A	A	A	健康福祉局	
【業績評価指標9-1】 障害児通所支援の利用者数	少子化		A			A					
【業績評価指標9-2】 ペアレントトレーニング参加者数	少子化		A			A					
10 健康づくりの推進											
【指標17】 自分が健康であると感じている人の割合		B		B	がん検診受診者数の増加や、健康増進事業の見直し、精神保健相談事業、食育推進事業等、心と体の健康づくりに向けた取組を推進しているものの、成果指標5つのうち4つの指標について目標を下回ったことから、1次評価を「B」とした。		B	B		健康福祉局	
【指標18】 日常生活で健康づくりに取り組んでいる市民の割合		B				B					
【業績評価指標10-1】 65歳未満の心疾患及び脳血管疾患の死亡率(人口10万対)			A			A					
【業績評価指標10-2】 ゲートキーパー養成研修修了者数			B			B					
【業績評価指標10-3】 野菜350g摂取の必要性について普及啓発を受けた人数			B			B					

「平成28年度 新・相模原市総合計画及び相模原市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進行管理 1次評価」結果一覧

施策 名称 成果指標 サブ指標	総合戦略 基本目標	平成27年度実績				【参考】平成26年度実績			改善工程表 (有:)	所管
	重点プロジェクト	成果指標 結果	業績評価 指標結果	総合評価 (1次評価)	1次評価の説明(要旨)	総合評価 (2次評価)	成果指標 結果	総合評価 (1次評価)		
11 医療体制の充実										
【指標19】 安心して医療を受けることができると感じている市民の割合		A		A	目標・指標も概ね達成し、地域医療事業、急病診療事業については、滞りなく事業が進められたことから1次評価を「A」とした。		A	A	A	
【指標20】 収容依頼3回以内で受け入れられた救急搬送者の割合	少子化	B					B			
【業績評価指標11-1】 市内で総合診療医の業務に従事する義務年限が生じる 修学資金借受者及び借受者卒業生の数			A				A			
【業績評価指標11-2】 重症患者の市内搬送割合	少子化		A				A			
【業績評価指標11-3】 国民健康保険税の収納率			A				B			
12 保健衛生体制の充実										
【指標21】 結核患者数		A		B	保健衛生体制の充実に向け、感染症のまん延防止や健康危機への対応、食の安全・安心など多様な取組を推進しているものの、成果指標及び業績評価指標7つのうち、2つの業績評価指標について目標を達成できなかったことから、1次評価を「B」とした。		A	A		
【指標22】 収去検査結果による基準値に対する違反率 (基準の定まった食品の抜き取り検査の違反率)		A					B			
【業績評価指標12-1】 麻しん風しん第2期予防接種の接種率			B				B			
【業績評価指標12-2】 食品等取扱施設に対する立入検査実施率			B				A			
【業績評価指標12-3】 収容した犬の返還・譲渡率			A				A			
【業績評価指標12-4】 収容した猫の譲渡率			A				A			
【業績評価指標12-5】 浴槽水等検査実施率			A				A			

「平成28年度 新・相模原市総合計画及び相模原市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進行管理 1次評価」結果一覧

施策 名称 成果指標 サブ指標	総合戦略 基本目標	平成27年度実績					【参考】平成26年度実績			改善工程表 (有:)	所管	
	重点プロジェクト	成果指標 結果	業績評価 指標結果	総合評価 (1次評価)	1次評価の説明(要旨)	総合評価 (2次評価)	成果指標 結果	総合評価 (1次評価)	総合評価 (2次評価)			
13 市民生活の安全・安心の確保												
【指標23】 市内で発生した犯罪認知件数 (千人あたりの犯罪認知件数)		A		A	犯罪認知件数や交通事故件数は順調に減少してきており、地域及び関係団体と連携したそれぞれの取組が、犯罪の防止や交通安全の意識啓発に繋がり、目標を大きく上回る成果が出ており、また、消費生活についても、さまざまな世代に講座参加を促す周知方法等の検討など改善すべき点はあるものの、出前講座回数、参加者数ともに前年度と比べて増加できているなど、消費者被害にあわないように注意している市民の割合8割を超えているなど、消費者被害防止のための啓発事業が一定の効果をもたらしているものと考えられることから、総合評価としてはA評価とした。		A	A	A			
【指標24】 市内で発生した交通事故件数 (千人あたりの交通事故件数)		A								A		
【指標25】 消費者被害に遭わないように注意している市民の割合		A								A		
【業績評価指標13-1】 防犯講習会の開催回数			A							A		
【業績評価指標13-2】 自転車シミュレーターを活用した交通安全事業の実施回数			A							A		
【業績評価指標13-3】 消費生活に関する出前講座参加人数			B							C		
新 【業績評価指標13-4】 自治会等による防犯カメラの設置台数			A									
14 災害対策の推進												
【指標26】 避難路整備率		A		A	施策No.14の「災害対策の推進」全体としては、指標は2つがA評価、業務評価指標は2つがA評価、1つがB評価であった。総合評価としては、指標2つがA評価、実行不可能となった指標を補完する業績評価指標1つがA評価であるため、A評価とした。		A	A				
【指標27】 浸水被害警戒対象地域の解消率		-								-		
【指標28】 災害対策をしている市民の割合		A								A		
【業績評価指標14-1】 避難路整備延長			B							A		
【業績評価指標14-2】 緊急雨水対策事業における浸水被害の解消率			A							A		
【業績評価指標14-3】 防災マイスターによる防災講座参加者数			A							A		
15 消防力の強化												
【指標29】 延焼率 出火した建物から他の建物への延焼を防ぎ、火災被害の減少の割合		B		A	救命率の向上については計画的な救急救命士の養成等が順調に推移し、救命率の目標値を超えることができ、また火災予防推進事業では、住宅用火災警報器設置率が増加し、火災予防の思想普及の推進により、延焼率は目標値には若干届かなかったものの、火災件数全体を減少させることができたことから、施策目的のめざす姿に直結した取組を実施し効果もあげていると判断し、1次評価をAとした。		A	A				
【指標30】 救命率 心肺機能が停止した傷病者の生存率		A								A		
【業績評価指標15-1】 住宅用火災警報器が設置されている住宅の割合			A							A		
【業績評価指標15-2】 応急手当に関する普及講習会受講者数			A							A		

「平成28年度 新・相模原市総合計画及び相模原市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進行管理 1次評価」結果一覧

施策 名称 成果指標 サブ指標	総合戦略 基本目標	平成27年度実績					[参考]平成26年度実績			改善工程表 (有:)	所管
	重点プロジェクト	成果指標 結果	業績評価 指標結果	総合評価 (1次評価)	1次評価の説明(要旨)	総合評価 (2次評価)	成果指標 結果	総合評価 (1次評価)	総合評価 (2次評価)		
学びあい 人と地域をはぐむ教育・文化都市											
16 学校教育の充実											
[指標31] 授業が分かりやすいと感じている児童・生徒の割合	少子化	A		A	スクールソーシャルワーカーを増員したことにより、関係機関とも連携したケース会議等の開催が大幅に増加し、支援を必要とする児童・生徒等に対して適切な対応を図ることができた。また、幼・保・小連携推進実践協力校の実践による研修の公開や情報発信を行ったことにより、幼・保・小連携の取組みについて周知することができ、連携・交流の取組みが目標値より大幅に増加したことから、1次評価を「A」とした。		A	A	A		
[指標32] 学校を楽しんでいる児童・生徒の割合		B					A				
[業績評価指標16-1] 幼・保・小連携幼稚園・保育園数			A				A				
[業績評価指標16-2] スクールソーシャルワーカーによる支援状況	少子化		A				A				
[業績評価指標16-3] 教職員の研修内容の満足度	少子化		A				A				
[業績評価指標16-4] 市立小・中学校のトイレの改修箇所数			B				A				
17 家庭や地域における教育環境の向上											
[指標33] 子どもとのコミュニケーションが図られていると感じる保護者の割合	少子化	A		B	学校と地域の協働推進事業では、コーディネーターが地域と学校のパイプ役として活動することにより、地域や学校の特性に応じた学習活動や環境整備への支援、児童・生徒の安心・安全確保の支援など、様々な学習活動への地域の人材活用が図られた。 PTAブロックが行った事業では、参加割合が目標値に達してなかったものの、広報紙やホームページへの掲載等による周知や、事業に参加できない又はほしい保護者への情報提供としてPTA広報紙に講座の内容を掲載するなど、ブロックごとに工夫して取り組んでいる。目標値に達するためには、開催時期や会場の選定、事業の内容等、さらに改善していく必要があるため、1次評価をBとした。		A	B			
[指標34] 親が自分のことを理解してくれていると思う子どもの割合	少子化	A					A				
[指標35] 地域における子どもの育成活動に参加した市民の割合		B					B				
[指標36] 地域行事に参加している子どもの割合		B					B				
[業績評価指標17-1] 家庭教育事業へ参加した保護者の割合	少子化		B				B				
[業績評価指標17-2] こどもまつりに参加した人数			A				A				
18 生涯学習の振興											
[指標37] 学習機会を得ていると思う市民の割合		B		B	市民講師養成講座は、平成27年度までの修了者数の累計目標値を達成したが、受講者数が年々減少し、運営組織が十分活性化されず、講座修了者の高齢化など、養成講座の見直しが必要である。 公民館活動事業では、公民館の事業評価への取組や、自主企画提案事業を実施した公民館が増加し、学習機会の充実を図ることができた。指標37の市民アンケートで半数以上の市民が、生涯学習の機会を得ていると思うかの問いに「わからない」と答えており、地域の拠点である公民館で「生涯学習」の機会が得られることの理解を深める等の改善が必要であるため、1次評価をBとした。		B	B			
[指標38] 学習成果を他の人に還元している市民の割合		A					B				
[業績評価指標18-1] 市民大学を受講し、満足と感じている人の割合			B				A				
[業績評価指標18-2] 市民講師養成講座の終了者数の累計			A				A				

「平成28年度 新・相模原市総合計画及び相模原市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進行管理 1次評価」結果一覧

施策 名称 成果指標 サブ指標	総合戦略 基本目標	平成27年度実績				【参考】平成26年度実績			改善工程表 (有:)	所管
	重点プロジェクト	成果指標 結果	業績評価 指標結果	総合評価 (1次評価)	1次評価の説明(要旨)	総合評価 (2次評価)	成果指標 結果	総合評価 (1次評価)		
19 生涯スポーツの振興										
【指標39】 スポーツを定期的に行う市民の割合		B		B	業績評価指標の実績値は、トレーニング室の利用者が大きく伸びるなど、約21万人増加した。また、指標については、平成26年度に比べ30歳代・40歳代が10ポイント増加したが、他世代より低く、引き続き改善に努める。全体では4.7ポイント増加したが、目標値には達していないことから、1次評価をBとした。		B	B		教育局
【業績評価指標19-1】 公共スポーツ施設の利用者数			A				A			
20 文化の振興										
【指標40】 文化・芸術に親しんでいる市民の割合		A		A	文化振興プランに基づく各事業の着実な実施により、指標である「文化・芸術に親しんでいる市民の割合」について目標値を達成することができた。また、各業績評価指標についても、参加者の高齢化等の課題はあるものの、各団体の努力による市民文化祭の入場者数の増加や、各文化施設の市民ニーズを捉えた自主事業の実施などによる入場者数の増加などが図られ、全ての項目で目標値を達成することができたことから、総合的にA評価との判定を行った。		B	A		市民局
【業績評価指標20-1】 市民文化祭への参加者数			A				A			
【業績評価指標20-2】 市内文化施設で行っている自主事業の入場者数			A				A			
【業績評価指標20-3】 文化財普及活動へのボランティア参加者数			A				A			
【業績評価指標20-4】 市内の文化芸術施設(ホールや公民館等)を利用している人の割合			-							
21 国際化の推進										
【指標41】 日常生活のなかで市民と外国人市民が交流している割合		B		B	評価指標の目標値には達していないが、様々な事業展開により実績値が前年より上昇していること、国際交流ラウンジの緑区、南区での事業実施が定着化し、ラウンジの機能強化が図られたこと、無錫市との友好都市締結30周年事業により、市民間交流を推進したことから、1次評価をBとした。		B	B		総務局
【業績評価指標21-1】 国際交流ラウンジ登録団体の活動回数			B				B			
22 人権尊重・男女共同参画の推進										
【指標42】 人権の侵害を受けていると感じている市民の割合		B		B	施策の目的達成に向け、施策を構成する事務事業を計画どおり実施し、人権尊重・男女共同参画の推進に成果を上げていると考えているが、各指標の結果などからより詳細な分析と効果的な事業実施が必要と考えられるため、1次評価をB評価とした。		A	A	B	市民局
【指標43】 家庭・地域・学校・職場などで男女平等であると思っている市民の割合		B					B			
【指標44】 市審議会等における女性委員割合		B					B			
【業績評価指標22-1】 人権啓発講演会参加人数			A				B			
【業績評価指標22-2】 男女共同参画の推進に関する講座等への1講座あたりの参加者数			A				A			
23 世界平和の尊重										
【指標45】 世界平和の実現に向けた取り組みに参加している市民の割合		C		B	成果指標における目標値は達成できなかったが、学校教育と連携した事業実施により若年層を含む幅広い世代の参加が図られたこと、各イベントでのアンケート結果において「戦争の恐ろしさ、平和の大切さを痛感した」「また参加したい」などの意見が多数を占めるなど、好評であったことから、1次評価をBとした。		C	B	B	総務局
【業績評価指標23-1】 「市民平和のつどい」における市民の参加者数			B				A			

「平成28年度 新・相模原市総合計画及び相模原市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進行管理 1次評価」結果一覧

施策 名称 成果指標 サブ指標	総合戦略 基本目標	平成27年度実績					【参考】平成26年度実績			改善工程表 (有:)	所管
	重点プロジェクト	成果指標 結果	業績評価 指標結果	総合評価 (1次評価)	1次評価の説明(要旨)	総合評価 (2次評価)	成果指標 結果	総合評価 (1次評価)	総合評価 (2次評価)		

やすらぎと潤いがあふれる環境共生都市

24 地球温暖化対策の推進												
【指標46】 市全体の温室効果ガス総排出量		B		B	地球温暖化対策実行計画に基づく施策については、市附属機関である「相模原市地球温暖化対策推進会議」が毎年評価・検証を行っており、平成26年度は、再生可能エネルギーの導入促進や省エネルギー対策の普及促進に取り組み、順調に実施されているとの評価を受けている。また、平成27年度は、地球温暖化対策の一助となる水素エネルギーの普及促進に努めた。 一方、東日本大震災以降、原子力発電所の停止により、火力発電への依存度が高まり、電力CO2排出係数が高まった影響により、市全体のCO2排出量は、409.5万t-CO2と算定され(前年度比で3.3%、基準年比で6.5%減少)、目標値である401万t-CO2を達成せず、一部の事業の取組に改善が必要なことから、1次評価をBとした。		B					環境経済局
【業績評価指標24-1】 市が独自に取り組む施策によるCO2削減見込量			B				-	A	A			
【業績評価指標24-2】 再生可能エネルギー等によるCO2削減見込量			A				-					
25 環境を守る担い手の育成												
【指標47】 日常生活において、環境に配慮している市民の割合		B		B	【指標47】については、「増加」を目標に掲げているものの反対に減少傾向となっている。 環境行動を意識する市民の割合が減少していることは課題であるが、環境情報センターの来所者数は増加傾向にある。環境まつり等の啓発イベントを活用して、今後ともより身近な環境行動を啓発することにより市民の意識の向上に努めていきたい。 環境を守る担い手については、環境情報センターを中心に学習・啓発活動や市民・事業者団体とのネットワークづくり等の様々な施策が展開されている。 また、実行委員会形式による「環境まつり」には多くの来場者があった。自然環境観察員制度もボランティアの主体的活動が進んでいる。 更に、平成25年3月に発足した「さがみはら地球温暖化対策協議会」も順調に会員数を伸ばし、様々な啓発事業が展開されている。 しかしながら、【指標47】の市民アンケート結果における評価はBであり、一部の事業の取組に改善が必要なため、1次評価をBとした。		B					環境経済局
【業績評価指標25-1】 環境講座への参加者数			A				A	B				
【業績評価指標25-2】 主要な環境啓発イベントにおける来場者数			B				A					

「平成28年度 新・相模原市総合計画及び相模原市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進行管理 1次評価」結果一覧

施策 名称 成果指標 サブ指標	総合戦略 基本目標	平成27年度実績					【参考】平成26年度実績			改善工程表 (有:)	所管
	重点プロジェクト	成果指標 結果	業績評価 指標結果	総合評価 (1次評価)	1次評価の説明(要旨)	総合評価 (2次評価)	成果指標 結果	総合評価 (1次評価)	総合評価 (2次評価)		
26 資源循環型社会の形成											
【指標48】 市民1人1日あたりの家庭ごみ排出量		B		B	街頭キャンペーンでは、生ごみの水切りグッズを配布し、市民に積極的にごみ減量の啓発に取り組んだ。また、収集運搬体制の見直しに係る集積場所における早朝啓発においても減量化・資源化を推進した。指標は2つが達成率95%以上、1つが85%以上だが、一部の事業の取組に改善が必要なため、総合評価はBとした。		B	B	B		
【指標49】 リサイクル率		B				B					
【指標50】 ごみ総排出量		B				B					
【業績評価指標26-1】 街頭PR、講座等啓発活動参加人数			A			A					
【業績評価指標26-2】 中小事業所の戸別訪問指導件数			C			C					
27 廃棄物の適正処理の推進											
【指標51】 市内で発生するごみが、市焼却施設及び最終処分場で処理される割合(家庭ごみ)		A		A	施策の2つの成果指標については双方とも目標値を達成しており、施策を構成する主な事業の取組みも着実に実施できたことから、評価をAとした。		A	A	A		
【指標52】 ポイ捨て、不法投棄を防止し、まちの美観が保たれていると感ずる市民の割合		A				A					
【業績評価指標27-1】 市焼却施設で処理可能なごみの量			A			A					
【業績評価指標26-2】 不法投棄撲滅キャンペーン参加人数			A			A					
28 水源環境の保全・再生											
【指標53】 管理された森林面積の割合(水源の森林づくり事業)		B		B	森林整備については、各取組の総合的成果を図る施策を構成する主な事業(事務事業)の取組結果において、概ね予定どおり実施できており、水源環境の保全に寄与している。一方、高度処理型浄化槽の設置に係る申請件数が少なかったため、津久井湖に流入するチッソ・リンの削減量が目標に達しなかった。改善策として、市設置型の高度処理浄化槽の設置工事について施工資格の要件を満たした業者を、市設置型高度処理浄化槽工事店とし、その業者が戸別訪問して設置を促進する制度を導入する。平成28年度の制度導入に向け、新制度のお知らせ版を作成し、整備区域の全戸配布による制度の周知、業者への説明会開催等を実施した。新しい制度の進捗状況や効果を検証しながら、今後も取組に改善が必要なため、1次評価はBとした。		A	B	B		
【指標54】 市域から津久井湖に流入するチッソ・リンの削減量		D				D					

「平成28年度 新・相模原市総合計画及び相模原市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進行管理 1次評価」結果一覧

施策 名称 成果指標 サブ指標	総合戦略 基本目標	平成27年度実績					【参考】平成26年度実績			改善工程表 (有:)	所管
	重点プロジェクト	成果指標 結果	業績評価 指標結果	総合評価 (1次評価)	1次評価の説明(要旨)	総合評価 (2次評価)	成果指標 結果	総合評価 (1次評価)	総合評価 (2次評価)		
29 人と自然が共生する環境の形成											
【指標55】 緑地率		B		A	【指標55】「緑地率」の割合は、目標値に0.1%満たないものの、【業績評価指標29-1】「市民協働による緑地・河川敷の維持管理面積」は目標値を達成することができ、緑地の保全は適切に行われているものと分析する。 【指標56】「水辺やみどりに親しめる場が十分であると感じる市民の割合」や、施策31の【指標59】「市街地、公共施設等における緑化満足度」は、実績値が目標値を上回り、市民は一定の満足を得ているものと分析する。 【業績評価指標29-2】「緑地や水辺環境の保全等に関する市条例による指定地域の箇所数」については、平成27年度中の指定には間に合わなかったが、平成28年度上半期には1地域指定できる見込みである。 以上のことからAと評価する。		B	A			
【指標56】 水辺やみどりに親しめる場が十分であると感じる市民の割合	A					A					
【業績評価指標29-1】 市民協働による緑地・河川敷の維持管理面積		A				A					
【業績評価指標29-2】 緑地や水辺環境の保全等に関する市条例による指定地域の箇所数		C				C					
30 生活環境の保全											
【指標57】 大気・水質規制基準適合率		A		A	【指標58】の「調査測定地点環境基準適合率」については、全国的に基準を達成していない光化学オキシダントの測定結果が影響し目標を達成しなかったが、【指標57】の「大気・水質規制基準適合率」については、事業所への法令に基づく規制指導や立入検査の結果、高い水準で大気・水質で規制基準を遵守することができた。更に公共下水道合流区域の分流化事業が計画に基づき事業が推進されていることに加え、し尿処理施設の整備についても津久井クリーンセンターし尿処理施設建設工事を完了したことから1次評価をAとした。		A	A			
【指標58】 調査測定地点環境基準適合率	B					B					
【業績評価指標30-1】 環境関係法令に基づく立入検査総数		B				A					
【業績評価指標30-2】 合流改善事業整備進捗率		A				A					
31 快適な都市空間の創造											
【指標59】 市街地、公共施設等における緑化満足度		A		B	施策を構成する各事業が概ね予定通り実施されており、市街地、公共施設等における緑化満足度、公園の満足度は目標を達成している。指標を補完する業績評価指標も、全て9割以上の達成率であるが、【指標60】の緑化活動に取り組む市民の割合については、目標値の達成率が低いため、今後も取組に改善が必要なことから、1次評価を「B」とした。		A	B			
【指標60】 緑化活動に取り組む市民の割合	D					C					
【指標61】 公園の満足度	A					B					
【業績評価指標31-1】 屋上緑化・壁面緑化・駐車場緑化の設置面積		B				B					
【業績評価指標31-2】 市民緑化事業の花苗などの配布団体数		B				A					
【業績評価指標31-3】 都市公園の供用開始数		A				A					

「平成28年度 新・相模原市総合計画及び相模原市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進行管理 1次評価」結果一覧

施策 名称 成果指標 サブ指標	総合戦略 基本目標 重点プロジェクト	平成27年度実績				【参考】平成26年度実績			改善工程表 (有:)	所管
		成果指標 結果	業績評価 指標結果	総合評価 (1次評価)	1次評価の説明(要旨)	総合評価 (2次評価)	成果指標 結果	総合評価 (1次評価)		
32 雇用対策と働きやすい環境の整備										
【指標62】 有効求人倍率	雇用促進 少子化	B		A	緩やかではあるが景気も回復基調にあり、有効求人倍率が0.83と、目標値まで0.03ポイントに迫るなど雇用情勢は改善傾向にあるとともに、仕事と家庭両立支援推進企業表彰へのエントリー数も目標値に達した。その他、相模原市総合就職支援センターにおける取組等雇用対策事業も予定どおり実施できたことから1次評価をAとした。		B	B		
【指標63】 ワーク・ライフ・バランスを考えた福利制度を導入している 中小企業の割合 (4年毎に測定されるもの、次回平成28年度予定)	雇用促進 少子化	-					-			
【業績評価指標32-1】 相模原市総合就職支援センター利用者の進路決定率	雇用促進 少子化		A				A			
【業績評価指標32-2】 相模原市仕事と家庭両立支援推進企業表彰への エントリー数	雇用促進 少子化		A				C			
33 地域経済を支える産業基盤の確立										
【指標64】 製造品出荷額等	雇用促進	B		B	STEP50事業計画認定数が目標に達し、建築協定の締結による操業環境の保全や今後の市内産業振興に繋がる重要な取組についても実施することができた。製造品出荷額等も前年を約6.1%上回っているが、目標値に到達しておらず、一部の取組に改善が必要なため、1次評価はBとした。		B	B	B	
【業績評価指標33-1】 STEP50事業計画認定数	雇用促進		A				C			
【業績評価指標33-2】 中小製造業技術者育成支援事業により助成を行った人数	雇用促進		B				C			
34 新産業の創出と中小企業の育成・支援										
【指標65】 新規の開設事業所数	雇用促進	A		A	新産業の創出や中小企業の安定した経営等に資する各施策を積極的に展開し、1,200を超える新たな事業者が誕生していることから、1次評価はAとした。		A	A		
【指標66】 経営安定の中小企業数(黒字申告をした企業数) (8月以降発表予定)	雇用促進	-								
【業績評価指標34-1】 創業相談会参加者数	雇用促進		A				B			
【業績評価指標34-2】 ものづくり企業総合支援事業の相談数	雇用促進		A				A			
35 商業・サービス業の振興										
【指標67】 小売業年間販売額(商品販売額) (概ね5年毎に測定されるもの)	雇用促進	-		B	施策を構成する主な事業の目標である中心市街地の商店街の景況感目標を上回り、商店街活性化に向けた取組は着実に成果を上げているが、業績評価指標は目標に届かなかつたことなどから、各事業の一部に改善が必要なため、1次評価を「B」とする。		-	A		
【業績評価指標35-1】 橋本駅周辺地区、相模原駅周辺地区及び相模大野駅 周辺地区の通行量	雇用促進		-				-			
【業績評価指標35-2】 商店会が実施した活性化に係る事業数	雇用促進		B				B			

「平成28年度 新・相模原市総合計画及び相模原市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進行管理 1次評価」結果一覧

施策 名称 成果指標 サブ指標	総合戦略 基本目標	平成27年度実績					【参考】平成26年度実績			改善工程表 (有:)	所管
	重点プロジェクト	成果指標 結果	業績評価 指標結果	総合評価 (1次評価)	1次評価の説明(要旨)	総合評価 (2次評価)	成果指標 結果	総合評価 (1次評価)	総合評価 (2次評価)		
36 都市農業の振興											
【指標68】 農用地区域内における耕作地面積の割合	雇用促進	B		B	施策全体として、2つの成果指標のうち、いずれも目標は達成できなかったが、「耕作地面積の割合」については、明確な上昇トレンドとなっている。また、「市内農業生産量」については、農産物直売所の開設を契機として、中長期的には市内農産物の生産拡大が見込まれる。 他方、基本計画で定めている指標を補完する2つの指標については、いずれも目標を達成しており、新規就農者の数、その新たな担い手による耕作面積及び市内農産物に興味を持つ市民の数は計画以上のペースで着実に増加している。 2つの業績評価指標やさがみはら都市農業振興ビジョン2025の策定を達成し、特色ある本市都市農業の確立に向け、実情に即した効果的な取組を進めることができたが、成果指標について取組に改善が必要なことから、1次評価をBとした。		B	B	B		環境経済局
【指標69】 市内農業生産量 (5年毎に測定されるもの、平成24年3月実施)	雇用促進	C				C					
【業績評価指標36-1】 新規就農者の人数	雇用促進		A			A					
【業績評価指標36-2】 JA農産物直売所の来客者数	雇用促進		A			A					
37 魅力ある観光の振興											
【指標70】 入込観光客数	雇用促進	A		A	施策の成果指標、業績評価指標ともに目標値に達しており、本市の観光振興を着実に推進していることから1次評価をAとした。		B	B		環境経済局	
【指標71】 1人あたりの観光客消費額	雇用促進	A				B					
【業績評価指標37-1】 アンテナショップ(sagamix)の販売実績	雇用促進		A			A					
【業績評価指標37-2】 観光人材育成研修の参加者	雇用促進		A			A					
【業績評価指標37-3】 相模原市観光協会ホームページアクセス数	雇用促進		A			A					

「平成28年度 新・相模原市総合計画及び相模原市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進行管理 1次評価」結果一覧

施策 名称 成果指標 サブ指標	総合戦略 基本目標	平成27年度実績					【参考】平成26年度実績			改善工程表 (有:)	所管
	重点プロジェクト	成果指標 結果	業績評価 指標結果	総合評価 (1次評価)	1次評価の説明(要旨)	総合評価 (2次評価)	成果指標 結果	総合評価 (1次評価)	総合評価 (2次評価)		
活力にあふれ多様な交流が生まれる広域交流拠点都市											
38 計画的な土地利用の推進											
【指標72】 特定保留区域の市街化編入率		D		A	2つの成果指標のうちひとつが目標を達成、もうひとつの成果指標が未達成であったが、業績評価指標のひとつが目標を達成、もうひとつもほぼ達成したほか、施策を構成する事務事業についても予定どおり事業実施が図られたことから、1次評価をAとした。		D	B			
【指標73】 自然的土地利用を図るべき地域の面積		A					A				
【業績評価指標38-1】 地区計画の決定及び建築協定の許可等区域の面積			A				A				
【業績評価指標38-2】 市街化区域内農地の面積に占める生産緑地地区面積の割合			B				B				
39 広域交流拠点都市にふさわしい都市拠点の形成											
【指標74】 市内3拠点の駅乗降客数		A		A	成果指標が目標を達成したほか、施策を構成する事務事業について概ね予定どおり実施できたことから、1次評価をAとした。		B	B			
【業績評価指標39-3】 相模大野駅周辺の通行量			-				-				
40 新たな産業拠点の形成と地域の拠点の活性化											
【指標75】 インターチェンジ周辺の企業立地件数	中山間地域	A		A	成果指標及び業績評価指標ともに目標を達成したほか、各地区事業が目標どおりに進められたことから、1次評価をAとした。		D	B			
【業績評価指標40-1】 土地区画整理事業等における使用収益開始面積	中山間地域		A				B				
41 広域的な交流を支える交通体系の確立											
【指標76】 市内3拠点から市外主要都市駅までの鉄道の所要合計時間の短縮(片道) (小田急線複々線化終了まで変更なし)		-		A	2つの成果指標はいずれも測定結果が出ないが、施策を構成する事務事業については予定どおりの事業実施が図られたことから、1次評価をAとした。		A	A			
【指標77】 市役所から市内外主要地点までの自動車での合計移動時間の短縮(片道) (さがみ縦貫道路開通まで変更なし)		-					A				

「平成28年度 新・相模原市総合計画及び相模原市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進行管理 1次評価」結果一覧

施策 名称 成果指標 サブ指標	総合戦略 基本目標	平成27年度実績				【参考】平成26年度実績			改善工程表 (有:)	所管
	重点プロジェクト	成果指標 結果	業績評価 指標結果	総合評価 (1次評価)	1次評価の説明(要旨)	総合評価 (2次評価)	成果指標 結果	総合評価 (1次評価)		
42 地域を支える交通環境の充実										
[指標78] 市内主要地点間の所要時間合計(片道) (5年毎に測定されるもの)		-		A	数値の出る成果指標、業績評価指標ともに目標を達成し、施策を構成する事務事業も予定どおり進んだことから、1次評価をAとした。		B	B		都市建設局
[指標79] 市域面積(国定公園及び水面・河川敷の面積を除く) に対する公共交通カバ－率		A				A				
[業績評価指標42-1] 自転車と歩行者の通行区分が分離されている道路の 整備済延長			A				A			
43 公共交通を中心とする交通体系の確立										
[指標80] 人口規模に対する公共交通の利用割合 (5年毎に測定されるもの)		-		A	成果指標は現段階では数値は出ないが、業績評価指標が大幅に目標を上回ったことや、施策を構成する事務事業が予定どおり進んだことから、1次評価をAとした。		A	A		都市建設局
[業績評価指標43-1] 放置自転車等の台数			A				A			
44 魅力ある景観の保全と創造										
[指標81] 市街地の景観が良好に保たれていると感じる市民の割合		A		A	成果指標、業績評価指標ともに概ね目標を達成できたほか、施策を構成する事務事業においても目標を達成することができたことから、1次評価をAとした。		A	A	A	都市建設局
[指標82] 自然的な景観が良好に保たれていると感じる市民の割合		B					A			
[業績評価指標44-1] 接道緑化の延長距離			A				A			
45 安全で快適な住環境の形成										
[指標83] 住環境のルールを定めている地区の数		A		B	業績評価指標は目標に達しなかったが、数値の出る成果指標が目標を達成し、施策を構成する事務事業については着実に進捗しているため、1次評価をBとした。		A	B		都市建設局
[指標84] 住宅の耐震化率 (相模原市耐震改修促進計画の見直し時に設定)		-					-			
[業績評価指標45-1] 木造住宅の耐震診断補助申請件数			D				C			
[業績評価指標45-2] マンション管理セミナー参加者数			C				A			
46 基地の早期返還の実現										
[指標85] 基地の存在が日常生活において支障があると感じる市民の 割合		B		A	粘り強く継続的に実施していくことが重要な事業ではあるが、平成27年度は、これまでの要請活動の結果として、26年度の相模総合補給廠の一部返還に続き、約35haの共同使用が開始され、このことが実績値の増加につながったと考えられることから、1次評価をAとした。		B	A		総務局

「平成28年度 新・相模原市総合計画及び相模原市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進行管理 1次評価」結果一覧

施策 名称 成果指標 サブ指標	総合戦略 基本目標	平成27年度実績					〔参考〕平成26年度実績			改善工程表 (有:)	所管
	重点プロジェクト	成果指標 結果	業績評価 指標結果	総合評価 (1次評価)	1次評価の説明(要旨)	総合評価 (2次評価)	成果指標 結果	総合評価 (1次評価)	総合評価 (2次評価)		
市民とともに創る自立分権都市											
47 分権型のまちづくりの推進											
【指標86】 住んでいる地域のまちづくりや課題解決を区民主体で進めていると感じる市民の割合	中山間	B		B	業績評価指標が達成できたことについては、区制施行5年が経過し、区民会議・まちづくり会議が地域に浸透してきていることに加え、会議のメンバーに限定せず広く意見を取り入れたことが、業績評価に反映されているものと考えられる。また、区制施行5周年で、各区で記念行事を行う等、地域特性を生かした区民主体のまちづくりの推進にむけて積極的な取組みがなされたものと評価できる。1次評価については、区民主体のまちづくりを進めているものの、成果指標が達成できなかったためB評価とした。今後は、地域の課題解決につながるような更なる取組みが必要である。		B	B			
業績評価指標47-1) 区民会議及びまちづくり会議の認知率 (この他、指標87も関連指標として設定)	中山間		A				-				
【業績評価指標・関連指標87】 地域活動への参加率	中山間		B				B				
48 皆で担うまちづくりの推進											
【指標87】 地域活動への参加率	少子化	B		B	3つの成果指標のうち、目標を上回り達成できた指標は2つであり、3つの業績評価指標においても、目標を上回り達成できた指標は1つであったが、施策を構成する個々の事業における取組は着実に進められていることから、1次評価をBとする。		B	B	B		
【指標88】 市民活動への参加率			A				C				
【指標89】 市内のNPO 法人数			A				A				
【業績評価指標48-1】 街美化アダプト制度の実施団体数	少子化		B				A				
【業績評価指標48-2】 さがみはら市民活動サポートセンターの利用登録団体数			B				A				
【業績評価指標48-3】 ボランティア認定制度における活動認定者数			A				A				
49 行政サービス提供体制の充実											
【指標90】 求めている行政サービスが、必要なときに身近な場所で受けることができていると感じる市民の割合		B		A	継続的に8割以上の満足度を維持し続けていること、業績評価指標は目標を達成していること、コールセンターでの人間ドックの申込や、コンビニ交付の導入など、市民の利便性向上のために新たなサービスを積極的に実施していることから、市民が求めている行政サービスを必要ときに身近な場所で受けることができていると考えられ、1次評価をA評価とした。		B	A			
【業績評価指標49-1】 諸証明書交付の全体数に占める自動交付機等、 窓口以外での交付件数の割合 (諸証明:住民票、印鑑証明)			A				A				
50 市民と行政のコミュニケーションの充実											
【指標91】 市政に意見を言える機会や手段が備わっていると思う市民の割合		B		A	一部の指標で目標を達成できなかったが、市民の声システムの活用により市民意見への迅速・的確な回答ができる体制が確立できたこと、ホームページへの翻訳機能の追加により情報発信力の強化が図られたこと、著名なアーティストやアニメキャラクター等の起用によりシティブロモーションの推進が図られたことのほか、公文書館における歴史的公文書を活用した企画展示の実施等により市民に歴史的公文書を身近に感じてもらう機会を提供できたことなどから、1次評価をAとした。		A	A			
【指標92】 市からの情報提供の手段や内容に満足している市民の割合		B					B				
【業績評価指標50-1】 回答までに要する日数			A				-				
【業績評価指標50-2】 市ホームページ閲覧者の満足度			A				-				